

I Peace, Inc (アイ・ピース株式会社)

809 San Antonio Road, Suite 7, Palo Alto, California 94303 U.S.A.

WEB: <a href="https://ipeace.com/">https://ipeace.com/</a>

2020年12月25日 I Peace, Inc.

## iPS 細胞を活用した心臓病の細胞療法の実用化に向け共同事業を開始

I Peace, Inc. (アイ・ピース) の医療用 iPS 細胞を活用し、Avery Therapeutics (アベリー・セラピューティクス) が心臓病治療用培養皮膚片 (MyCardia™) を作製、共同して臨床応用を目指す

独自技術の開発により iPS 細胞を安価かつ大量に提供への道筋を開くことに成功した I Peace  $( \mathcal{F} + \mathcal{F} - \mathcal{F} )$  と、培養皮膚片による疾病治療や筋肉組織損傷の治癒法の開発に注力する Avery Therapeutics  $( \mathcal{F} - \mathcal$ 

Avery Therapeutics(アベリー・セラピューティクス)は、iPS 細胞技術を心臓病治療に活用し臨床試験の承認を最も早期に申請する企業の一つとなるものと見込まれます。本共同事業のゴールは、この画期的な技術を治療に応用するための認可を取得し、心臓病治療用培養皮膚片を常備品にすることにより、世界で数千万人にも上る心臓病に悩む方々の生活の質の向上をもたらすことにあります。

本事業に用いる iPS 細胞は、京都にある I Peace (アイ・ピース) の最先端の技術を組み込んだ GMP (医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理) 適合の基準製造施設において作成されます。この施設は PMDA (医薬品医療機器総合機構) ならびに USFDA (米国食品医薬品局) の求める基準に沿って設計されており、近畿厚生局より特定細胞加工物製造許可を得ています。そこでは施設、機器のみならず、細胞提供者募集、スクリーニング、採血、iPS 細胞策世知、保管、運搬までの一連の工程まで包括的な検証プログラムにより製品の安全性が担保されています。特に商業用途の細胞提供者募集ならびに医療用iPS 細胞作製の一連のプロセスについては、米国の独立倫理審査委員会 (IRB) の承認を得

ています。これら高い基準に沿った I Peace の細胞提供体制が、今回の共同事業につながりました。

Avery Therapeutics(アベリー・セラピューティクス)は独自の再生医療技術を今後様々なタイプの心臓病や、心臓以外の疾病などその適用範囲を広げる予定で、I Peace(アイ・ピース)との共同事業により iPS 細胞が安定供給され、様々な疾病に苦しむ方々の支援につながることが期待されます。

I Peace は企業・研究機関向けの臨床・研究用 iPS 細胞の提供に加え、個人向け医療用 iPS 細胞作製・保管サービス「マイ・ピース(MiPSC)」の提供を開始しており、既に顧客数名の血液からの iPS 細胞の製造を開始しています。来年からは提携医療機関での受付も始め、本格的に展開する予定です。今回の Avery Therapeutics(アベリー・セラピューティクス)との協業により、多くの方々の手に高品質な iPS 細胞を届け、再生医療や創薬の未来に貢献する、という I Peace のミッションの実現に一歩近づくことができました。

## I Peace, Inc. について

I Peace, Inc.は、グローバルな医療用 iPS 細胞のサプライヤーです。弊社は、京都大学山中伸弥教授の研究室出身である CEO 田邊剛士 によって立ち上げられました。我々の使命は、全ての人々が当然のように自分の iPS 細胞を持ち、細胞療法を皆が利用できる仕組みを作ることによって、患者さんの苦痛を軽減し、健康な人々が質の高い生活を維持できるようにすることです。I Peace の最先端の GMP ファシリティーと独自の製造プラットフォームは、一つの部屋で同時に多数のドナー由来の医療用 iPS 細胞を量産することを可能にしました。それにより、多種類のクリニカルグレードの iPS 細胞をスムーズに研究者や医療機関に提供する事ができ、臨床研究の実施機関は自分たちの臨床研究に最適な iPS 細胞株を選択することが出来ます。iPS 細胞の量産とコストの劇的な削減を実現し、iPS 細胞が誰の手にも届くようにするために日々革新的な技術開発に取り組んでいます。

## I Peace, Inc.

創始者・CEO:田邊剛士(Koji Tanabe)

創立:2015年

本社所在地:米国カリフォルニア州パロアルト

日本子会社:IPeace, Ltd. (アイ・ピース株式会社)、京都市

iPS 細胞製造拠点:京都市

ウェブサイト https://www.ipeace.com

Avery Therapeutics ウェブサイト https://averythera.com